

<p>施策名</p>	<p>大 事 項 中 事 項 小 事 項</p>	<p>地球温暖化対策に対する取組み 環境負荷の小さい交通体系の構築 公共交通機関の利用促進 [ICカード乗車券の導入推進]</p>	<p>交通政策部</p>
<p>施策の概要</p>	<p>公共交通機関の利用者利便の向上のため、交通系ICカードの利用エリアの拡大や事業者間での共通利用、エリア間での相互利用の推進策を検討する。 九州管内において、相互利用可能な交通系ICカードが導入されていない都道府県をゼロとする。</p>		
<p>28年度の計画</p>	<p>九州における交通系ICカード乗車券は、平成13年9月に北九州市交通局が「ひまわりカード」を導入したのを皮切りに、以降、全県で導入され、平成22年3月には、福岡・北九州都市圏を中心としたJR九州「SUGOCA」、西日本鉄道「nimoca」、福岡市交通局「はやかけん」にJR東日本の「Suica」を加えた相互利用が開始となり、平成25年3月、これら3種類を含む全国10種類のカードの利用エリアが順次拡大されるなど、利用者への利便性の向上が図られてきたところである。</p> <p>平成27年11月には、宮崎県において「nimoca」及び「SUGOCA」が導入され、九州管内の相互利用カードの空白地域がなくなることとなった。</p> <p>今後は、「交通系ICカードの普及・利便性拡大に向けた検討会」の取りまとめ結果に沿って、全国相互利用カードの利用環境整備に向けて、事業者・地方公共団体に対して、「地域公共交通バリア解消促進事業」を説明し、利用地域の拡大を支援していく。</p>		
<p>27年度の実績と評価</p>	<p>平成27年10月から、北九州高速鉄道（株）が「mono SUGOCA」を導入し、12月からは、福岡市渡船の乗船券発売機で10カードの利用を開始した。</p> <p>また、宮崎県においては、平成27年11月より、宮崎交通（株）が旧カード「宮交バスカ」から「nimoca」への切り替えを行い、JR九州も同時に宮崎駅を中心とした12駅に「SUGOCA」を導入した。熊本県では、地域振興ICカードが平成28年3月から片利用運用が開始され、全国10種の相互利用型IC乗車券が利用可能となった。九州管内では、相互利用カードの空白地域がなくなり、利用者利便の向上が図られた。</p>		

